

本会議の代表質疑から

本定例会では、条例・その他の議案、予算、施政方針について各会派の代表質疑を行いました。代表質疑及び個人質疑は一括して各会派の持ち時間内で行い、大会派順に発言をします。持ち時間は各会派の人数等によって決まり、各会派の持ち時間及び発言順序は以下のとおりです。

まちだみらい	60分
選ばれる町田をつくる会	55分
自由民主党・日本維新の会	55分
公明党	50分
日本共産党	45分
無所属	45分



〈録画中継ページ〉

選ばれる町田をつくる会 若林章喜

問 新たな学校づくりに関して、学校統合に伴う通学の負担軽減についての方向性は。

市長 学校統合に伴う通学等に関する基本方針に基づき、公共交通機関の活用、スクールバス等の導入や中学校の自転車通学など、負担軽減策の検討を進めてまいります。

問 忠生スポーツ公園について峠谷地区・旧埋立地地区のコンセプトと今後の進め方を問う。

市長 様々な世代が憩い、体力づくりもできる広場というコンセプトに基づき、複数のスポーツ専用グラウンドやイベントスペースなどを整備予定でございます。今後の進め方についてでございますが、安全対策工事を行うとともに、

公園の設計も進めてまいります。その後、整備工事を行った上で、32年度のオープンを目指してまいります。引き続き、地域の皆様と丁寧なコミュニケーションを重ねながら、取組を進めてまいります。

問 20代の若者転出超過の課題について市長の考えは。

市長 町田市での挑戦の経験が、若い世代の人生を豊かにし、これからもこの町で暮らし続けたいという深い愛着へとつながるよう、力強く取組を推進してまいります。

問 持続可能な地域コミュニティの実現に向けての取組を問う。

市長 今後、町内会・自治会活動のデジタル化支援、地域活用型学校の推進、地域活動サポートオフィスによるコーディネート情報交換会などの取組を進めてまいります。

公明党 松葉ひろみ

問 29年4月開校を目指す「(仮称)町田市学びの多様化学学校」の、不登校支援の中核としての役割は。

市長 相談時には、最適な学びの場を検討し、他の機関へつなぎます。校内教育支援センター等、様々な学びの場の選択を支援いたします。得られた知見について、研修等を通じ全ての市立小中学校に共有し、活用してまいります。

問 実効性ある「客引き防止条例」制定に向けた今後の取組は。

市長 規制対象や罰則規定は、意識調査を踏まえ検討してまいります。あわせて、協議会などの皆様と合意形成を図ってまいります。パトロールなど、誰もが心から楽しむことができる魅力ある中心市街地を構築してまいります。

問 「町田木曽山崎パラアリーナ」の整備を、共生社会の理解促進や周知啓発にどのようにつなげていくのか。

市長 障がい者と健常者が共に利用し交流することで、障がいへの理解を深めることを目指してまいります。本施設をバリアフリー化を牽引する象徴と位置づけ、共生社会実現の拠点としてまいります。

問 市民病院への救急科設置による経営健全化への具体的効果や、がん拠点病院等高度医療構想は。

市長 救急搬送からの入院受入れ件数を増やすことで、事業収益の増加を図り、経営の健全化につなげてまいります。将来的には、がん拠点病院や、より高度な救急医療にも目を向けてまいります。

無所属 松岡みゆき

問 救急救命士と地域医療連携の強化の取組を問う。

市長 救急救命士につきましては、1名採用いたしました。市民病院で手術や高度な専門治療を終えた方などについて、協定締結病院等へ転院搬送を行ってまいります。

問 学校統合の進む中、廃校の体育館を避難施設として活用するのか。避難施設は足りているのか。検証を問う。

市長 多摩東部直下地震の被害想定において、市全体で最大3万8941人が避難するとされており、40年度までの学校統合の工事期間中及び閉校後においても、想定している全ての避難者の受入れスペースがあることを確認しております。学校跡地の活用に関する基本的な考え方に基づき、校舎等の既存施設は原則解体するとしております。

問 市の営繕業務で公共建築物の事務手続で、オンラインで各種申請や資料共有、現場での図面確認を可能にする「施工管理アプリ」を都内26市初で運用開始した内容は。

市長 紙の書類手続や窓口での対面提出の負担軽減に加え、オンライン上での案件の一元管理、進捗の可視化等を図ることが可能となります。

問 学校統合で、歩道の無い生活道路を、車がスピード違反で運転して子供達が危険。生活道路の安全対策を問う。

道路部長 26年9月1日の道交法施行令改正により中央線のない狭い生活道路にて最高速度が原則時速30キロメートルに引き下げられ、安全性が向上すると認識しています。

まちだみらい 今村るか

問 新たな学校づくりについて、第1期の総括を伺い、今後どのように進められ、また統合により通学距離が長くなる児童生徒の負担軽減の取組を伺います。

市長 第1期の総括は今後適切に行うものと考えております。引き続き、第2期の計画を推進してまいります。スクールバス等の導入や、様々な面から負担軽減策の検討を進めてまいります。

問 激甚化・頻発化する災害に実効性のある地域防災計画が必要。学校統合中や閉校後の避難場所確保と要配慮者対応についても伺います。

市長 過去の課題やニーズを分析し、実効性の高い計画としてまいります。避難者の

スペースは引き続き確保し、実情に合った支援ができるよう見直しを進めてまいります。

不安定な世界状況下で 急速、的確に対応する財政的な考えを問う。

市長 今後も財源の確保に努め、必要に応じて財政調整基金を活用することで機動的な対応を図ってまいります。

問 多岐にわたる課題への対応にあたり、市民目線・現場の声と、分野横断的な施策で相乗効果を生み出すこと、俯瞰的な視点で新たな発想が市長には求められている。決意を伺います。

市長 地域、民間、行政が力を合わせ、それぞれの強みを生かしながら町田ワンチームで取り組み、市民が誇りを持って住み続けられる夢のある町を実現してまいります。

問 町田駅周辺の開発によって市長が思い描く中心市街地の未来と、その実現に向けた投資の考え方は。また、新たな基金の設置に関連し、開発全体の事業費や市の歳出規模の見通しはあるか。

市長 思い描いているのは、新たな文化やビジネスが絶えず間なく生まれる持続可能な稼げる町です。実現に当たって、投資したくなる仕掛けを生み出す公共投資が不可欠と考えております。事業費や歳出規模の見通しは適切に算出してまいります。相当規模の投資になることが見込まれます。

問 「新しい里山づくり」に向けた市長の思いは。また、今後具体的にどのような取組を進めていくのか。

市長 町田の里山を将来にわたって持続可能な形で保全していきたいと考えております。産学官連携による共同研究、地域や民間事業者の皆様と連携して、コンテンツづくりに取り組んでまいります。

問 市民病院の救急医療体制について、市長の課題認識は。また救急科の必要性や期待される効果、今後の展望は。

市長 救急車応需率を向上させることが喫緊の課題であると認識しております。地域の中核病院として、救急医療体制の強化に向けた取組を全力を挙げて進めてまいります。

問 市民の声をさらに幅広く聞く機会として「市民討議会」についての市長の考えは。

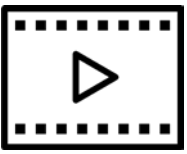
市長 市民討議会を通じて、市が目指すべき未来の姿や様々な課題の解決に反映していきたいと考えております。

インターネット中継もご覧ください



本会議、常任委員会や特別委員会の様子を市議会ホームページで、ライブ中継、録画配信を行っています。

▶スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただくことができます。



市議会の会議録の閲覧と検索ができます



質問や答弁の詳細は、会議録で全文を確認することができます。

▶市議会ホームページ、市庁舎3階の議会図書室等でご覧いただくことができます。(本定例会の会議録は次回定例会開催前までに完成予定です。)

